

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	2単位 保育の内容・ 方法	保育内容 言葉	豊田 順子	1年次	秋

授業のキーワード	領域「言葉」のねらい（心情）（意欲）（態度）の育ちを学ぶ （感性と表現の豊かさ）を追求
授業の概要	言葉は日常生活の中で養われ、思考の媒体、コミュニケーションの成立と行動の調整機能に欠かせないものとする。そこで、言葉の発達や指導法について学ぶ。児童文化財に触れ、豊かな感性を育み、保育技術を学ぶ。
期待される学習成果（目標）	履修「言葉」を他の領域と関連付けながら総合的に考え、子どもと共に生活する中で、言葉を育て、心を育てるために学びたい。そして、子どもにとっての「言葉の獲得」を様々な実践事例を通して学ぶ。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	ガイダンス	自己紹介、講義内容の説明・教科書の扱い方	第9講	広がる世界とことば	文字習得の基盤 はなし言葉と書き言葉 文字との出会い
第2講	幼児教育について	幼児教育の基本を知る 幼・保・小の関連	第10講	ごっこ遊びとことば	イメージの言語化 イメージの共有化
第3講	言葉の発達（1）	乳幼児期の”言葉の発達と特性”について	第11講	文化財を通して想像力を高める1	ペープサート わらべうた 手遊び
第4講	言葉の発達（2）	乳幼児期の”言葉の発達と特性”について	第12講	文化財を通して想像力を高める2	詩やうたとの出会い 紙芝居の歴史と実践
第5講	領域「言葉」について	領域「言葉」のねらいと内容について	第13講	文化財を通して想像力を高める3	絵本の歴史と内容について学ぶ
第6講	領域「言葉」について	教師の役割について	第14講	文化財を通して想像力を高める4	素話（昔話・民話）（ストーリーテリング）
第7講	信頼関係から生み出されることば	ことばにならない表現の読み取り。居場所・居方について	第15講	まとめと実践	言葉を通して相互に伝える喜びを実践を通して味わう。
第8講	感情体験とことば	快・不快の感情 思いの気付きと主張 気持ちの整理と立直し	定期試験		筆記試験
評価方法		筆記試験 70%、授業 30%（授業態度、提出物、実践含む）として評価します。応答性のある内容にし、意欲を高めていただきますので、頑張ってください。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
事例で学ぶ保育内容<領域>言葉（榊原文書林）			随時紹介（毎授業の前に言葉遊び、伝承遊び、自然物など、取り入れながら進めていくので、気付きの拠り所にしてほしい）		